

こどもの未来応援基金

令和5年度活動事業報告書

こどもの未来応援国民運動推進事務局



こどもの未来応援国民運動

も く じ

■ ご挨拶	1
■ こどもの未来応援基金について	2
■ 令和5年度 未来応援ネットワーク事業に関する活動	3
■ 令和5年度 未来応援ネットワーク事業実績報告、活動の成果	4
■ 基金の財務状況	5
令和5年度未来応援ネットワーク事業活動レポート	
① 様々な学びの支援	
■ ひとり親世帯など経済的な理由で塾に通えない中学生の学習サポート事業 (茨城県「もりサポ塾」)	6
② 居場所の提供・相談支援	
■ こどもや保護者を支える訪問型・来所型「サードプレイス」事業 (宮城県「認定NPO法人 STORIA」)	7
③ 衣食住など生活の支援	
■ 地域の生産者や高齢者と交流して地域でこどもを見守る事業 (神奈川県「NPO法人 宮ノマエストロ」)	8
④ 児童又はその保護者の就労の支援	
■ 就学から就労まで切れ目なく、こども若者の社会的自立を支援 (大分県「NPO法人 キャリアサポート」)	9
⑤ 児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援	
■ 社会的養護のこどもたちの生きづらさに寄り添い、自己肯定感を育む (千葉県「一般社団法人 COCO PORTA」)	10
⑥ その他の支援	
■ にいざシングルファミリーサポート事業 (埼玉県「NPO法人 新座子育てネットワーク」)	11
■ こどもたちや保護者の声	12
■ 令和5年度未来応援ネットワーク事業 支援団体一覧	16
■ ご協力いただいた企業	21

ご挨拶

こどもの未来応援基金にご寄付をいただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

本基金は、平成25年6月の「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の成立、平成26年8月の「子供の貧困対策に関する大綱」の決定を受け、こどもの貧困対策を官公民の連携・協働プロジェクトとして推進する観点から、平成27年10月に創設されました。本基金の創設以来、企業や個人から広く寄付を募り、貧困による困難に直面するこどもたちを支える草の根の活動を実施している団体への支援を継続しています。

令和5年4月には「こども家庭庁」が発足し、12月には、こども施策に関する基本的な方針、こども施策に関する重要事項、こども施策を推進するために必要な事項について定める「こども大綱」が策定されました。こども大綱の本文では、「今この瞬間にも、貧困によって、日々の食事に困るこどもや、学習の機会や部活動・地域クラブ活動に参加する機会を十分に得られないこども、進学を諦めざるを得ないなど権利が侵害された状況で生きているこどもがいる。こどもの貧困を解消し、貧困によるこうした困難を、こどもたちが強いられることがないような社会をつくる。」とこどもの貧困対策について明記されました。さらに、令和6年6月には「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が改正され、「こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律」として、こどもの貧困を「解消する」という目的が明示されました。

こどもの視点に立った必要な政策に取り組もうとする中、経済的に厳しい状況にあるこどもたちの生活の安定や学びの継続に向けて、社会全体で支援していくことは大変重要です。本基金ではこれまで、全国の団体の皆様から、「支援を得ることで、行政や地域の信頼を得ることができ、団体の活動が大きく前進しました」、「こどもたちの権利を守っていく上で、この事業は必要不可欠」といった声をお寄せいただきました。こうした声に接する中で、これからも、こどもたちを支援する環境を社会全体で支援していくための一助として、本基金の意義を改めて認識しているところです。

寄付者の皆様のご支援に改めて感謝を申し上げますとともに、お預かりした寄付金の活用成果について、本事業報告書をもってご報告いたします。

令和7年3月 こどもの未来応援国民運動推進事務局
[こども家庭庁、文部科学省、独立行政法人福祉医療機構]

「こどもの未来応援基金」について

沿革

平成27年10月、「こどもの未来応援基金」は、こどもの貧困対策に係る官公民の連携・協働プロジェクトとして創設されました。

こどもの貧困の状態を放置することにより、こどもたちの将来が閉ざされてしまうだけでなく、社会的損失にもつながることから、困難に直面したこどもたちを支える民間の活動を支援するため、寄付金を原資とした本基金を創設し、平成28年より「未来応援ネットワーク事業」として支援金の交付を継続しています。

令和5年度の支援金の使途については、①様々な学びを支援する事業、②居場所の提供・相談支援を行う事業、③衣食住などの生活の支援を行う事業、④児童又はその保護者の就労を支援する事業、⑤児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業、⑥その他、貧困の連鎖の解消につながる事業とし、外部有識者等で構成される審査委員会において申請内容を審査の上、支援先を決定しました。

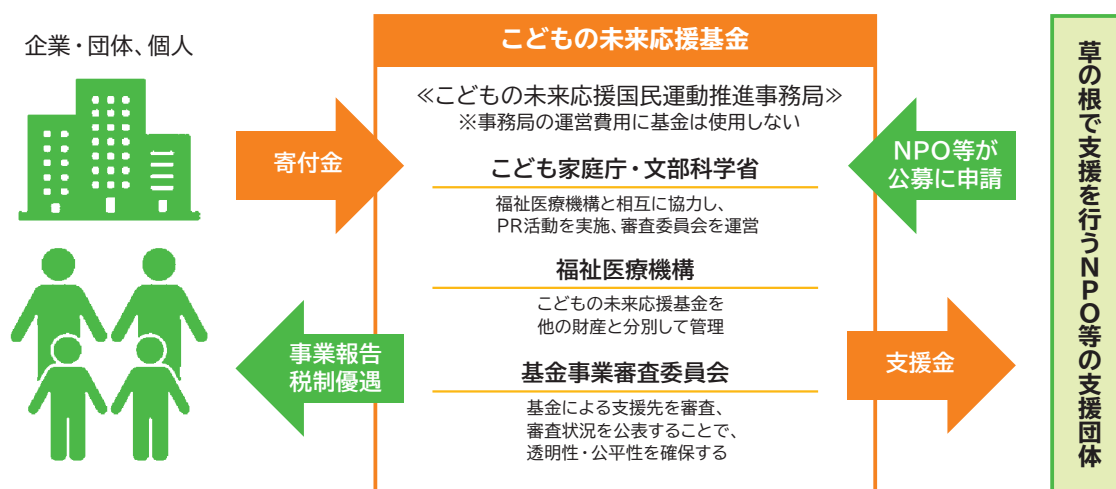
平成27年4月 **「こどもの未来応援国民運動」発起人集会**
関係閣僚や経済界、教育・福祉関係者など様々な分野から発起人が集い、民間資金による基金創設を検討することなどを決定しました。

平成27年10月 **「こどもの未来応援基金」を創設**
「こどもの未来応援基金」の寄付を募る活動を始めました。

平成28年7月～ **未来応援ネットワーク事業の公募を開始**
年1回、全国から公募し、支援団体が活動しています。

「こどもの未来応援基金」の管理・運用体制

「こどもの未来応援基金」は、こども家庭庁、文部科学省、独立行政法人福祉医療機構により構成する「こどもの未来応援国民運動推進事務局」が管理・運用しています。



■「こどもの未来応援基金」事業審査委員会

「こどもの未来応援基金」により行う支援事業については、支援先となる団体を公募し、その申請内容について「こどもの未来応援基金」事業審査委員会において審査の上、決定しました。本報告書に掲載の令和5年度事業は、以下の委員に審査していただきました。

[委員]

浦崎 真仁 横浜市子ども青少年局子ども福祉保健部担当部長

菊池 まゆみ 藤里町社会福祉協議会会長

◎草間 吉夫 新島学園短期大学准教授

小山 遊子 株式会社イトーヨーカ堂経営企画室 CSR・SDGs 推進部総括マネジャー

笹山 衣理 滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局子ども未来戦略室室長

高野 久美子 キヤノンマーケティングジャパン株式会社企画本部 サステナビリティ推進部部长

宮本 みち子 放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授

室田 真一 東京都立大学人文社会学部人間社会学科准教授

(五十音順、敬称略。◎は委員長。役職は令和4年12月21日時点)

「令和5年度未来応援ネットワーク事業」に関する活動

令和4年 8月

- 「こどもの未来応援基金」事業審査委員会において「令和5年度未来応援ネットワーク事業」の実施について審議。
- 「令和5年度未来応援ネットワーク事業」による支援団体を公募。(募集期間: 8月9日~9月20日)

令和4年 12月

- 「こどもの未来応援基金」事業審査委員会において「令和4年度未来応援ネットワーク事業」による支援対象を審査。(21日)

令和5年 1月

- 「令和5年度未来応援ネットワーク事業」による支援団体を公表。(20日)

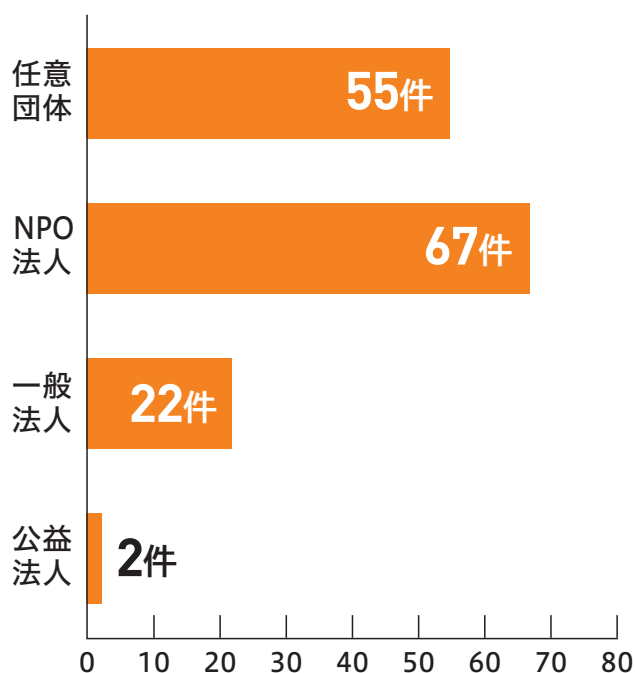
令和5年度未来応援ネットワーク事業実績報告

令和5年度は、全国の146団体に対し支援を行いました。

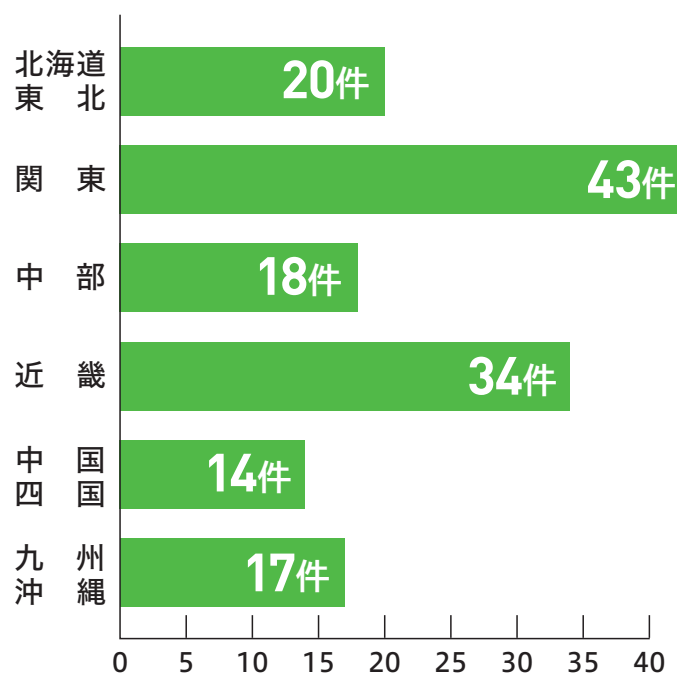
■支援件数 計146件

様々な学びを支援する事業	29件
居場所の提供・相談支援を行う事業	45件
衣食住など生活の支援を行う事業	53件
児童又はその保護者の就労を支援する事業	4件
児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業	2件
その他、貧困の連鎖の解消につながる事業	13件

■支援先団体の法人区分別内訳



■支援先団体の所在地域別内訳



令和5年度活動の成果

令和5年度の活動において、**148,515名**のこども・親子に支援を届けました。

2,930名

様々な学びの
支援

27,875名

居場所の提供
相談支援

110,037名

衣食住など
生活支援

7,624名

児童、保護者の
就労支援

49名

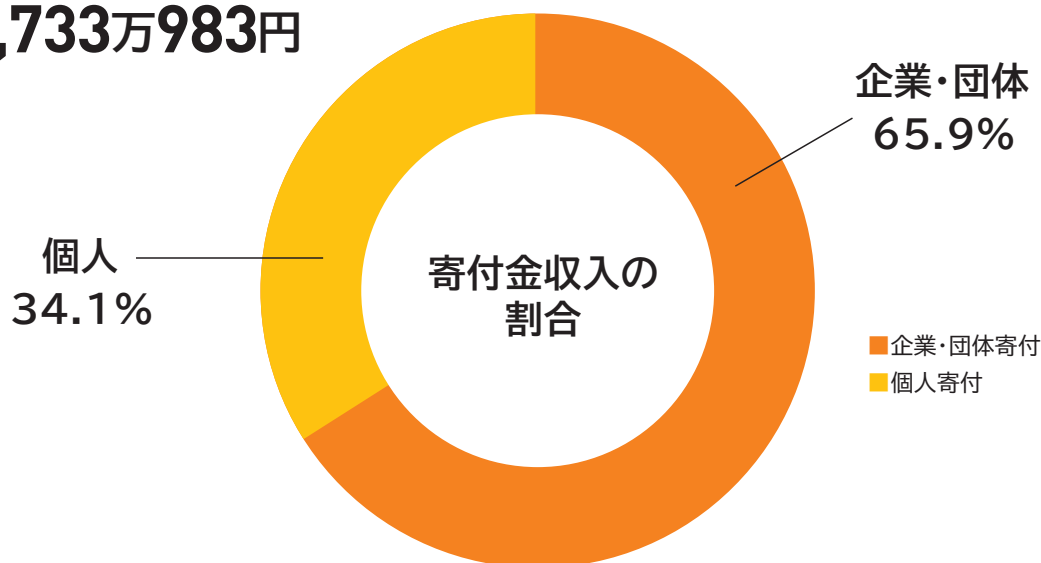
児童養護施設等の
退所者等の支援

※助成団体からの報告を単純集計したものの。

基金の財務状況

■寄付金収入 令和5年度末時点(累計)

20億9,733万983円



■寄付金支出 令和5年度末時点(累計)

15億5,548万6,000円

※寄付金は、クレジットカード決済手数料を除き、全額が支援に充てられます。

支援実績

事業年度	活動期間	支援実績(支援決定額)	
平成28・29年度 未来応援ネットワーク事業	平成28年10月 ～平成29年9月	86団体	約3億1,600万円
平成30年度 未来応援ネットワーク事業	平成30年4月 ～平成31年3月	79団体	約2億6,600万円
平成31年度(令和元年度) 未来応援ネットワーク事業	平成31年4月 ～令和2年3月	71団体	約2億 800万円
令和2年度 未来応援ネットワーク事業	令和2年4月 ～令和3年3月	97団体	約1億3,300万円
令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大への 対応に伴う緊急支援	令和2年7月 ～令和3年3月	20団体	約5,300万円
令和3年度 未来応援ネットワーク事業	令和3年4月 ～令和4年3月	96団体	約1億4,600万円
令和4年度 未来応援ネットワーク事業	令和4年4月 ～令和5年3月	133団体	約2億 200万円
令和5年度 未来応援ネットワーク事業	令和5年4月 ～令和6年3月	146団体	約2億3,000万円

1 様々な学びの支援

もりサポ塾（茨城県）

ひとり親世帯など経済的な理由で塾に通えない中学生の学習サポート事業

「もりサポ塾」は、経済的に厳しい状況などにある中学生を対象に少ない負担金額での学習支援を行う団体です。地域ボランティアや大学生が講師となり、個別やグループによる学習支援を行っています。

代表の川崎文さんが家庭教師経験を生かし、令和3年に小さなボランティア団体として創設。現在では大学生や勉強を教える幅広い職種の講師ボランティア14名と、団体運営に専念する7名のボランティアが参加。授業と運営の役割分担をすることでスムーズな活動が可能になっているとのこと。

また一般の塾に協力を仰ぎ、茨城県の受験情報なども提供しています。月に1回栄養満点のお弁当を作り届けてくれる「子ども食堂 もりんくる」や手作りパンを提供してくれる「BROAD BREAD」などのサポーターもいるといいます。

主な活動内容は、守谷市民プラザにある市民活動支援センターで、中学生たちへの週1回の英語と数学(中学3年生の希望者のみ理科も)の授業や5日間の夏期講習、塾でしか受けられない茨城統一テストを年2回受けさせるサポート、生徒の保護者との面談などです。

こどもの未来応援基金の支援金を講師や生徒が使う教材をそろえるための費用や事務用品代に充当するなど、各種の支援金や助成金を活用しています。令和5年度は茨城県ボランティアコンテスト「いばらきチャレンジアワード」で奨励賞を獲得、市の「市民提案型事業発表会」でも活動について発表しました。

初年度の生徒数は7名でしたが、守谷市の広報誌をはじめさまざまな所に働きかけて認知を広げ



支援を集めることで増え、令和5年度は12名の生徒が通いました。

生徒たちに話を聞くと、「塾に通い出してから、意欲的に机に向かうようになりました」「授業での理解力が高くなりました」「勉強に追いつけなくなったらどうしようという気持ちがなくなりました」「面談で高みを目指そうと志望校を変更できました」と、明るい声が返ってきました。

川崎さんによれば、「勉強ができなかった子が高校入試で2番で合格したり、成績が上がって学校で先生に褒められたり、ここに来た時より明るくなったりした子もいます」とのことです。続けて、「こどもたちは地域に支えられた経験があるから地域を支えることができ、大人になった時に社会に対して信頼と安心を持つことができる。我々はこどもたちにそれを提供したい。勉強だけではなく、こどもの成長を長い目で見て一人一人に合わせたサポートを行い、できるだけ一生懸命こどもたちの心に寄り添いたい」と語ってくれました。

2 居場所の提供・相談支援



認定NPO法人 STORIA (宮城県)

子どもや保護者を支える訪問型・来所型「サードプレイス」事業

認定NPO法人STORIA(ストーリーア)は、2016年4月に設立された団体です。代表理事の佐々木綾子さんをはじめとした15人のスタッフのほか学生・社会人ボランティアによって、仙台市で経済的・環境的な困難な状況にある家庭の子どもたちのためのサードプレイス事業の運営や保護者のための相談支援事業などを行っています。

小学生のための来所型サードプレイス事業は、週2回16時～20時に仙台市内の2か所で開催。さらに、土日も不定期で開催しています。

平日のサードプレイスでは、みんなで一緒にご飯を作って食べたり、広いホールでドッジボールやバドミントンなどの遊びをしたり、子どもたちが安心できる「日常体験」を提供しています。土日に行われるサードプレイスでは「非日常体験」を用意。バーベキューやクリスマス会などのイベントをはじめ、支援者やボランティアスタッフをお客さんに迎えての子どもたちによるカフェやパン屋の運営、テレビ番組のような本格的な鬼ごっこなど、子どもたちと一緒に企画をしながら開催しています。創業時からのスタッフの原溪太郎さんは、「体験の中で育まれる非認知能力を重視しているので、子どもたちに体験

の機会を提供したいと考えています」と話します。子どもの未来応援基金は、サードプレイスの運営費用や食費等に活用されました。

子どもの未来応援基金を活用し、令和5年度は新たに、様々な事情でサードプレイスに来ることが難しい子どもたちを対象とした訪問型サードプレイス事業を開始。仙台市等と連携し、支援員が子どもたちの家庭を週1回訪問しました。家の外に出ることが難しい子どもと「やりたいこと」を一緒に考えながら公園でお弁当を食べたり虫捕りをしたりという体験学習の支援を行いました。保護者に対しては、「子育て・法律・教育費・就労支援」などの総合相談支援を行うことで、様々な困難な状況にある家庭に対する包摂的な支援を実施しました。

令和5年度に来所型サードプレイスの利用登録をした小学生と保護者は各17人、年間のべ約890人が利用し、訪問型サードプレイスの利用登録をした小学生と保護者は各6人で、年間のべ約150人が利用しました。利用実績や効果測定等にもとづく仙台市への提言が実り、令和6年度からは仙台市の委託事業として継続しています。

3 衣食住など生活の支援



NPO法人 宮ノマエストロ（神奈川県）

地域の生産者や高齢者と交流して地域でこどもを見守る事業

NPO法人宮ノマエストロは、地域住民が世代を超えてつながることを支援するため、平成30年から神奈川県横浜市泉区の中田町で地域のコミュニティスペース「宮ノ前テラス」を運営しています。

この施設は広々とした公園に隣接し、学校帰りのこどもからゲートボールを終えた高齢者まで地域の人々が気軽に集い、いつも賑わいを見せています。それぞれが思い思いに過ごし、心安らぐ空間となっています。

施設では、約60人のボランティアを中心にさまざまな取組も行われています。コミュニティイベントや対話の場の企画を通じた地域交流をはじめ、こども食堂や自習室の運営、ワークショップの開催などこども・教育支援、高齢者向けの健康維持や交流プログラムの提供など福祉支援にも力を入れています。

その活動の一環として、こどもの未来応援基金の支援金による農業体験を実施しました。宮ノマエストロの代表・高橋裕子さんが施設を訪れるこどもたちと関わるなかで、お祭りや屋台に行ったことがないこどもがいる実情を知り、「ひとり親世帯や生活貧困世帯のこどもたちは、体験が不足しがちである」

と感じたことをきっかけに企画がスタート。地域の体験格差をなくしたいという思いから、これまで宮ノ前テラスで行われてきた体験プログラムに加え、地域に根ざした農業体験を実施しました。

農業体験ではピーマンやナスなどを生産する近隣の農地を訪れ、農家から直接作り手の思いや作業に関するレクチャーを受けます。その後土づくりから種まき、植え付け、収穫までの一連の農作業を体験します。収穫体験は、サツマイモやブドウなどを収穫する機会が複数設けられます。ただ収穫するだけでなく、作物に関する説明を受けたり、地域の人々と交流したりすることも目的の一つです。さらに、収穫した作物は宮ノ前テラスでこどもたちと一緒に調理し、施設を訪れる人々に振る舞われました。

高橋さんは、これまでの活動や今後の目標について、次のように話してくれました。

「以前、家で不安なことがあったと、小学生が相談しに来てくれたことがありました。ここに来れば誰かがいて、助けてくれる——そう思ってもらえる場所をつくりたいと活動してきたので、とてもうれしかったです。これからも、そのように地域の人々の拠り所であり続けたいと思います」

4 児童又はその保護者の就労の支援



NPO法人 キャリアサポート (大分県)

就学から就労まで切れ目なく、こども若者の社会的自立を支援

NPO法人キャリアサポートは、こども・若者が就学から就労へと自立するための切れ目ない支援を行うことを目的に、平成12年に立ち上げられた団体です。

障害でもなく生活保護でもない支援の狭間に存在する、引きこもり等の様々な困難に直面しているこども・若者に対し、就職支援セミナーや社会人との交流の機会を設けています。セミナー等に参加することで地域の同世代や社会人と交流し、職場体験で働くイメージをもつことができ、就労や進学等につながるという良い循環を生むことを促しています。また、社会へ出るための支援には専門的な知識や経験が必要なため、支援者の育成につながる研修会なども行っています。

令和2年度及び3年度のこどもの未来応援基金の支援事業では、引きこもり等の状態にあるこども・若者を対象に、キャリア教育や職業人講話等のセミナーを実施し、2年間で約370名が参加しました。代表の高野祐子さんによると、参加者からは「視野が広がり、何かやって挑戦してみたいという気持ちが湧いてきた」「セミナーを通して仲間ができて、すごく楽しい」といった声がよせられたそうです。

令和5年度のこどもの未来応援基金の支援事業では、新たな取組として月4回、合計44回の職場体験事業を実施。仕事への不安を少しでも解消することにつながればという思いで、地域の他のNPO法人や企業等と連携しながら、パソコンを使った実務体験を実施しました。各回3～7人、のべ264人が参加しました。

履歴書作成や面接練習などの個別対応が必要な就職支援セミナーは、参加者の希望等に合わせて複数回開催するなど、高野さんは参加者に寄り添って計画することを心がけています。そうした結果、就職支援セミナーにはのべ約160人が参加しました。また、参加者を待つだけでなく、経済的な事情や公共交通機関のない地域からでも参加できるように、希望者には無料で送迎することも試みたことで新しい参加者も増えたそうです。

高野さんは今後の目標を次のように説明してくれました。「地域のNPO法人や企業、社会福祉協議会のみなさまの協力で活動が成り立っています。『なかつ若者応援ネットワーク』の構築に力を注ぎつつ、協力者を増やしながら今後も事業を継続していくことを目指しています」

5 児童養護施設等の退所者等や 里親・特別養子縁組に関する支援

一般社団法人 COCO PORTA (千葉県)

社会的養護のこどもたちの
生きづらさに寄り添い、自己肯定感を育む

一般社団法人COCO PORTAは、社会的養護が必要なこどもたちが、自己肯定感を高め、地域の中で共助・共生できる社会を目指して、令和4年に設立されました。

代表の山田理恵子さんに法人名の由来を聞くと、「PORTAは扉という意味です。ここ(COCO)に来たら扉(PORTA)が開くよ!という意味を込めました。目の前に立ちほだかる壁だと思っているものに扉を見つけられる手伝いができればと思っています。」と教えてくれました。設立以来、里親家庭・特別養子縁組家庭を対象にした交流会や養育者勉強会の開催、地域住民等を対象にした社会的養護をテーマとした映画上映会やトークイベントを通じた啓発活動等を行っています。

令和5年度のこどもの未来応援基金の支援事業では、里親家庭・特別養子縁組家庭・ファミリーホームのこどもを対象に、音楽に合わせて体を動かしたりアート作品作りをしたりすることで、自由な自己表現の場を提供するワークショップを開催しました。音楽のワークショップは2回開催しのべ19人が参加、アートのワークショップは4回開催しのべ32人が参加しました。アートワークショップの最後の回は、今までの会場だと参加できなかった遠方のファミリーホームのこどもたちを対象に出張開催しました。

山田さんによると、音楽やアートを介したワークショップは、コミュニケーションが難しいこどもでも、ワークショップの作業を進めていく中で、徐々に緊



張もほぐれて周りの人に打ち解けていく様子がかがえるそうです。ワークショップは繰り返し開催することで、そこに学校とは違う同じ境遇のこどもがいるという安心感も生み、次のワークショップ開催時にまた来てくれたり、養育者同士も繋がり、情報共有の場ともなったりしているということです。実際に参加したこどもたちからは「最初は緊張したけど、音楽やアートは自分を少し違う世界に連れて行ってくれる感じがする。」「自分の作った作品にみんながおお～って言ってくれたりすると嬉しい気持ちになる。」「同じ境遇の子と知り合うきっかけができてよかった。」といった声がよせられました。

COCO PORTAは、地域住民参画型のイベントも既存事業と同時展開していくことで、イベントに参加するこどもと地域住民が自然と触れ合い、主体的に支えあえる機会の構築を目指しているそうです。

6 その他の支援



NPO法人 新座子育てネットワーク(埼玉県)

にいざシングルファミリーサポート事業

NPO法人新座子育てネットワークは、地域における子育て・家庭教育支援の充実を目指し、平成11年に設立されました。埼玉県新座市を中心に、全国各地のNPO、大学、国際NGOとも連携し25年間活動を続けています。

地域子育て支援センターや児童館の運営、父親支援、子どもの居場所づくりなど、地域に根差した支援活動を展開しており、困窮・孤独孤立対策を近年の重点課題とする中で、令和3年からは、ひとり親家庭支援「にいざシングルファミリーサポート」を開始し、登録者への情報発信や食支援を実施してきました。

令和5年度こどもの未来応援基金の支援事業では、ひとり親支援者の研修・育成に加え、新座市内のひとり親家庭を対象とした相談会、親子交流会、体験活動を実施しました。

相談会は、テーマ別に3回実施し、のべ大人24人、子ども15人が参加。ひとり親の悩みごとへの対処法や、こどもの年齢に応じてかかるお金や受けられる支援等について、講師による説明会の後、希望者の個別相談を行いました。全ての回において別室で子どもを見守り、ひとり親が参加しやすい

環境を整えました。

また、体験活動では、ボルダリング、野菜収穫・焚き火、いちご狩り、を実施し、延べ大人36人、子ども51人が参加しました。

体験活動や親子交流会では、参加者アンケートで特に高い満足度が得られ、「ボルダリングは初めてだったけれどとても楽しかった。難しいところにも挑戦してみたらできたのがうれしかった」「日曜祝日もほとんど休みがなく子どもをあまり遊びに連れて行ってあげられなかったので、参加できてよかった」「子どもが集中して一生懸命諦めずに取り組んでいる姿を見ることが出来て、成長を感じた」「普段子どもに体験させられない事ができてよかった」「なかなかシングル同士で話すことがないので、もっと時間が欲しい!と思った」「ひとりではないと思えた」「頑張ろうという気持ちになった」などの感想が寄せられました。

今後は、団体として運営する児童館や子育て支援拠点においても、ひとり親支援活動を組み込むことで、ひとり親家庭に対する地域の支援力向上を目指していくということです。

こどもたちや保護者の声

「こどもの未来応援基金」による支援を受けた団体の活動により、こどもたちやそのご家庭に様々な変化が現れています。支援団体によせられた声の一部をご紹介します。

「通ってなかったら高校に合格できていなかったと思う。」

「先生方はみんなやさしくしてくれたので、勉強の不安はあまり感じなかったです。」

「いろんな活動が楽しかったです。ありがとうございました。」

(学習支援団体によせられた、こどもたちの声)

「子供のためにいろいろと考えてくださり、ありがたかったです。」

「学校選びの際には、一緒に行ってください親身になってくれました。」

「いつも楽しそうに行っていたので、ほんとうに先生方のことが好きだったんだと思います。」

(学習支援団体によせられた、保護者の声)

「2年間大変お世話になりました。土曜授業や行事などでお休みすることもありましたが、プログラミングのお知らせがあると『絶対行く!』と毎回楽しみにしていました。このような経験を与えてくださりありがとうございました。また機会がありましたら参加したいです。」

(プログラミング学習を行う支援団体によせられた、保護者の声)

「ゲームや料理が楽しかった。」

「みんなと勉強できて楽しかった。」

「バーベキューやお肉がおいしかった。魚釣りが初めてだったので、楽しかった。」

(居場所や野外体験等の提供を行う団体によせられた、こどもたちの声)

「学校にはあまり楽しく通えていませんが、ここには自分から進んで行きたいと言って楽しみにしています。この様な場所で自分の居場所があるんだという事が我が子の自信に繋がって、また学校へ楽しく通えるようになってくれるんじゃないかと期待しています。」

「異年齢のお友だちとの交流が出来、野外活動が出来ることを楽しみにしているので助かっています。」

(居場所や野外体験等の提供を行う団体によせられた、保護者の声)

「こどもは、ご飯も、そのあと少し遊べるのも楽しみにしています。自分ご飯のことを考えなくていいと気持ちが楽になります。」

「いろいろな家族の様子を見られて、自分だけが大変なんじゃないと思えました。」

「月1回の楽しみの日。仕事が終わって家に着くのが19時近くでばたばたしながら夕飯準備をしないで心の余裕ができるようになりました。こどもたちは苦手な野菜もここだと頑張って食べてくれます。」

「食材の使い方で自分と違う方法を知ることができました。こどもはモリモリ食べるようになりました。」

「人と食事することが楽しいと、こどもが知ってくれてよかったです。」

「ホッとできる居場所。ゆるっと人とつながれる心地よさを感じています。」

「自分は息抜きになっているしこどもも楽しみにしています。」

(こども食堂や相談支援を行う団体によせられた、保護者の声)

「日曜祝日もほとんど休みがないのであまり遊びに連れて行ってあげられていなかったのですが、近くで本人が興味を持っていたので参加できてよかったです。」

「車も無くなかなか遊びに連れて行ってあげられない中、このようなイベントを開いていただき、とてもありがたいです。こどももとても楽しそうで、良い思い出になりました。また機会がありましたら、是非参加したいと思います。ありがとうございました。」

「通常いちご狩りは高くてなかなか行けないけど、このようなイベントを企画していただいて、久しぶりにいちご狩りができました。おいしかったです！ありがとうございました。」

(野外体験等の提供を行う団体によせられた、保護者の声)

「こどもとの会話の重要性をあらためて感じました。また、教育費等の助成金についての話を聞いたのも良かったです。」

「楽しかったです。なかなかシングル同士で話すことがないので、もっと時間が欲しい！と思うくらいでした。」

「これからの進学で必要になってくる費用について、利用できる制度について知ることができました。そして、一つの相談窓口として利用できる場を知られて、これから利用していきたいと思いました。まだまだ不安なことがいっぱいなことは確かですが、今日のお話で知ることのできたことを今一度確認してやってみたいと思います。貴重な会に参加させて頂きありがとうございました！」

「他の方と相談の共有が出来て良かったです。今後も自分の知らない情報があるかもしれないので、今後も参加したいです。」

「高校・大学進学はまだ先のことですが、いつでも大丈夫なように準備をしておこうと思いました。そして、給付金や貸付等の制度は変わるので、その都度見直すことが重要ですね。家計の見直しもしようと思います。」

(ひとり親に対する相談支援等を行う団体によせられた、保護者の声)

こどもたちや保護者の声

「いつも話を聞いてくださったり、アドバイスしてくれたり、家事のお手伝いなどしてもらって本当に感謝しています。」

「こどもとの交流にもなったのが良かったです。」

「こどもと遊んでもらえ、絵本をもらうこともできました。」

(訪問型の相談支援等を行う団体によせられた、保護者の声)

「『気軽に楽しんでくれたらいいよー』と言ってくださって、ちょっと人に頼ってみようと思えるようになりました。たくさん食べ物をいただけてしばらく生活できそうです。」

「お米や冷凍食品もいただきました！ こども達は、射的が楽しかった、このお菓子早く食べたい！と大興奮でした。」

(居場所や食料品等の提供を行う団体によせられた、保護者の声)

「こどものことで悩んでいても、食品を持ってきて話を聞いてくれたり、行政の担当課を紹介してくれたりして助かりました。部活動に行くときのお弁当のお米もない時もありましたが、『お米がなくてこどもにお弁当を持たせられない』とお電話をしても、すぐに対応してくださり、助かりました。」

(生活の支援を行う団体によせられた、保護者の声)

「お菓子が嬉しい。」

「すぐに食べる事が出来るインスタント食品がありがたかった。」

「お米を受け取ることができて嬉しかった。」

(定時制高校等で食料品等の提供を行う団体によせられた、こどもたちの声)

「もっと色々な仕事を体験したいので、いろいろなことを増やして欲しい。」

「自分の興味のある仕事を選んでやりたい。」

(職業体験プログラムを行う団体によせられた、こどもたちの声)

「自分の言葉で言えない時、スタッフの人が自分の代わりにみんなに伝えてくれて良かった。」

「ピアノを弾いているところを、間近で見られたのが良かった。少しピアノに興味湧いた。」

(里親家庭等に対するワークショップを行う団体によせられた、こどもたちの声)

「社会的養護というバックグラウンドがあるこどもは、他人が来ると普段は警戒してしまうのですが、同じ境遇のこどもだからなのか初めから馴染んで一緒にワークショップを行っている様子があり、そこがとても良かったです。誰かの体調やこどもの状態で、遠方まで足を運べない事が多いので、こうして出前的な事をしていただけるのはありがたく、また、ワークショップ自体もとてもこどもが楽しんでいたので、ぜひまた実施していただきたいです。」

(里親家庭等に対するワークショップを行う団体によせられた、保護者の声)

「(親子で参加し自分も)楽しかったです。」

「スポーツに消極的だったが、楽しそうでした。」

「(こどもが)のびのびしていました。」

「専門のコーチが丁寧に指導してくれました。」

「こども同士の交流ができました。」

(無料のスポーツ教室を行う団体によせられた、保護者の声)

令和5年度未来応援ネットワーク事業 支援団体一覧

- ① 様々な学びを支援する事業
- ② 居場所の提供・相談支援を行う事業
- ③ 衣食住など生活の支援を行う事業
- ④ 児童又はその保護者の就労を支援する事業
- ⑤ 児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業
- ⑥ その他、貧困の連鎖の解消につながる事業

(※支援金額：採択決定時の金額)

都道府県	団体名	類型	事業名	支援金額 (千円)
北海道	NPO法人 ゆめみ〜る	①	子ども食堂における学習支援体制の整備と他の子ども食堂への支援事業	2,998
	公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会	②	子ども・若者の居場所「いとこんち」事業	2,977
	NPO法人 陽だまりの家	②	福祉と心理の専門職が子どもの安心と未来を支える子どもの居場所事業	3,000
	NPOボラギヤング	③	こどもの困窮を支える食支援と孤立を支えるコミュニティづくり事業	3,000
	NPO法人 麻生キッチンりあん	⑥	季節の旬の食材を使った「おうちごはんを作ろう」事業	3,000
	かでの会	②	子どもの貧困対策支援および学習支援事業	1,000
	NPO法人 くるくるネット	②	子ども食堂・食材無料配布・学生ボランティアの学習支援の開催事業	1,000
	NPO法人 子どもの未来・にじ色プレイス	②	困難を抱えた子どもたちの居場所づくりと学習支援事業	300
	わたわた食堂	③	子ども食堂の運営と、子どもの生き抜く力を育む事業	1,000
青森県	NPO法人 しろいし	③	ひとり親世帯への食材配布事業	3,000
宮城県	認定NPO法人 STORIA	②	困難家庭の子どもたちの「生きる力」を育む訪問型サードプレイス事業	3,000
	NPO法人 TEDIC	②	複合的困難下の子どもを支える「子どもソーシャルワーク」の構築事業	2,936
	NPO法人 やっぺす	②	地域の親子がつながりあえる居場所づくり事業	3,000
	NPO法人 フードバンク仙台	③	困窮を解消する生活相談と食糧支援活動による新しい世帯包括支援事業	2,979
	一般社団法人 みちのさき	⑥	豊かな心を育む第3の居場所 元気いっぱいこども図書館事業	2,960
秋田県	幸せサポートいろどり	③	困窮子育て世帯へのストレス緩和の為にフードパントリー事業	300
山形県	かみのやまこども食堂『かえる家』	①	無料塾『かえる家』事業	3,000
	NPO法人 クローバーの会アットやまがた	①	コロナ禍の相対的貧困家庭に対する学習を通じた居場所づくり事業	1,950
福島県	一般社団法人 あんだんて	②	生きる力を育む第三の居場所づくり事業	3,000
	本宮自主夜間中学	①	中高生と若者などへ義務教育の学習を支援する自主夜間中学の運営事業	1,000
茨城県	もりサボ塾	①	もりサボ塾事業	300
	NPO法人 子ども食堂れん	③	非営利活動法人子ども食堂れん事業	300
栃木県	NPO法人 風車	③	みんなが笑顔になれる居場所づくりとふれあい食堂事業	2,386
	一般社団法人 とちぎ男女共同さんかくねっと	③	親と子の居場所(相談支援)&子ども食堂事業	3,000
	NPO法人 植野たすけあい	②	子どもの明るい未来を応援するこども食堂とこども寺子屋事業	1,000
	NPO法人 すくすく子育てやぎハウス	③	子ども食堂、学習、子育て相談・居場所提供事業	300

都道府県	団体名	類型	事業名	支援金額 (千円)
群馬県	NPO法人 虹色の会 よっちゃん家井野川	②	生活困窮するひとり親家庭等へのフードパントリーと親子の居場所事業	1,000
埼玉県	NPO法人 わわわ工房	②	子どもの居場所作り・学習支援事業	1,742
	NPO法人 地域教育ネットワーク	③	WAKU☆DOKIはっぴー、WAKU☆DOKIパントリー事業	2,686
	NPO法人 Glocal Standard	①	はすだ寺子屋 ～地域一丸となり様々な学びを子ども達へ提供～事業	1,000
	一般社団法人 カイロス	②	「ただいまの家」事業	1,000
	十文字学園女子大学生生活環境研究所	③	「みんなの居場所」となる 子育て支援フードパントリー事業	1,000
	NPO法人 新座子育てネットワーク	⑥	にいざシングルファミリーサポート事業	1,000
	千葉県	NPO法人 ハイティーンズサポートちば	②	高等学校内居場所カフェの開設・運営及び食料支援事業
一般社団法人 COCO PORTA		⑤	音楽とアートで自己肯定感を高めるワークショップ事業	1,285
ひだまりのたね		②	学校や家庭以外の第3の居場所を目指して、 地域食堂を行う事業	300
一般社団法人 READY BOX		③	ひとり親家庭への 「はじめての生理準備BOX[READYBOX]」寄贈事業	300
NPO BRIGHT		③	千葉こども宅食プロジェクト事業	1,000
NPO法人 せんなり村		⑥	人と人とのつながりや、心の関わりを大切に した地域交流拠点事業	1,000
東京都	コミュニティー・レストラン「木々」	②	食と学びの場で、 すべての子どもの健やかな育ちを支援する事業	3,000
	NPO法人 3keys	②	「非交流型の10代の居場所」モデル化事業	3,000
	なにかし堂	②	商店街とバーチャルを基盤にした 子どもの心の貧困解消事業	3,000
	一般社団法人 チョイふる	②	困窮子育て家庭への先駆的アウトリーチ開発事業	2,913
	NPO法人 芸術家と子どもたち	②	芸術文化による子供を中心とした 包摂型コミュニティづくり事業	3,000
	NPO法人 日本教育再興連盟	②	貧困状態のギフテッド傾向のある子どもと その保護者の居場所支援事業	3,000
	NPO法人 日向ぼっこ	③	生活に困窮する若者の 自己決定・自己実現促進のためのサポート事業	1,801
	NPO法人 テラコヤ	①	カフェ塾テラコヤ事業	1,000
	勉強お助け教室由木教室	①	勉強お助け教室由木教室事業	300
	あじさいの集い富士見	②	地域における生活困窮者、ひとり親等への子ども、 子育て支援事業	1,000
	NPO法人 日本ピーススマイル協会	②	青少年心の居場所と 無料学習支援及び育児サポート事業	1,000
	せたがやこどもフードパントリー実行委員会	③	食を通じたアウトリーチ支援事業	1,000
	一般社団法人 Kid's Garden	③	こども食堂「やずびょんち」事業	1,000
	東京都 (神奈川県)	一般社団法人 ディーセントワールド	②	こども食堂スワン事業

都道府県	団体名	類型	事業名	支援金額 (千円)
神奈川県	NPO法人 ABCジャパン	①	外国につながる子どもたちの学びと未来を支える教育支援事業	3,000
	ドリームセンター	③	食事・食料品を無償提供及び子どもの居場所の提供事業	2,140
	NPO法人 ユナイテッドかながわ	⑥	地域子ども支援プロジェクト2023事業	3,000
	NPO法人 デジタルコンテンツ研究会	①	さがみはら みらい塾事業	1,000
	NPO法人 湘南まぜこぜ計画	②	子どもの居場所シェアハウス事業	1,000
	NPO法人 まちのかげ	③	子ども無料お弁当配布・子ども体験学習事業	1,000
	NPO法人 宮ノマエストロ	③	地域の生産者や高齢者と交流して地域で子どもを見守る事業	1,000
	ニヤトワンみんなの食堂	③	貧困家庭への支援及び地域の居場所作り事業	1,000
	子ども学習支援グループ須賀の寺子屋	③	須賀の寺子屋 子どもの学習と食支援事業	1,000
	子どもフリースペース“いらっしやい”運営委員会	③	生活に困窮する家庭の子ども達に食事や居場所を提供する事業	1,000
新潟県	NPO法人 いきいき健康家族オアシス	①	学習・児童自立生活支援所及びクローズ型子ども食堂継続事業	1,000
	NPO法人 こどもみらい食堂	③	子どもみらい食堂事業	1,000
	NPO法人 フードバンクつばめ	③	燕市分水平日夕食パントリー&フードドライブ事業	1,000
富山県	NPO法人 えがおプロジェクト	②	困難を抱えるひとり親家庭を支援する事業	3,000
	一般社団法人 ゆい社会福祉士共同事務所	③	SNS等と宅配ボックスを活用したリサイクル品の分配事業	1,000
石川県	NPO法人 WEKプロジェクト	②	シングルマザーと子どもの“えがお”応援プロジェクト事業	1,000
	笑顔のこども食堂ネットワーク-GOHAN-	③	子どもの居場所の確保と夢をあきらめない学習事業	1,000
	NPO制服バンク石川	③	制服で困る子供達に制服の無償提供事業	1,000
福井県	NPO法人 BRICOLAB	①	外国ルーツの親を持つ子どもたちを含めた無料の学習支援事業	1,000
長野県	一般社団法人 アキバコ	①	須高地域 小中学生不登校支援事業	1,000
	特定非営利活動 子ども・若者STEPハウス	②	コロナ禍の家族の貧困下におこる子ども・若者自立支援パート2事業	1,000
岐阜県	地域たすけあいの会	③	食を通じたこどもの居場所づくり・自立支援事業	1,000
静岡県	NPO法人 POPOLO	③	生き辛さに悩む高校生へのアウトリーチ及び伴走支援事業	3,000
	NPO法人 はままつ子育てネットワークぴっぴ	⑥	ぴっぴドリカムプラン ひとり親家庭自立応援事業	2,000
愛知県	NPO法人 陽和	②	困難を抱えた子ども達の自立支援事業	2,972
	NPO法人 はぐくみ	③	やとみ地域食堂事業	3,000
	愛知夜間中学を語る会	①	学習支援及び居場所支援のための自主夜間中学事業	300
	NPO法人 レインボー	③	「寺子屋×子ども食堂」事業	1,000
三重県	NPO法人 shining	⑥	生活・体験・学び支援と地域協働で子どもの基礎力まるごとUP!事業	3,000
	NPO法人 学び場子ども食堂	①	無料学習塾運営及び無料子ども食堂運営事業	1,000
滋賀県	一般社団法人 滋賀県里親連合会	⑤	子育てを社会が支える未来～里(地域)親活用プロジェクト事業	3,000
	ボランティアグループ 「たんぼぼ」	②	夜の子どもの居場所フリースペース・朝ごはん応援プロジェクト事業	300
	彦根子どもサポートネットワーク	②	あそび家くまぐま事業	300

都道府県	団体名	類型	事業名	支援金額 (千円)
京都府	認定NPO法人 セカンドハーベスト京都	③	こども支援プロジェクト事業	3,000
	京都マザーグースの会	①	学習支援や体験活動を通じた子育て親子の居場所づくり事業	1,000
	ママキラ☆プロジェクト	②	ヤングケアラー・若者居場所プロジェクト事業	1,000
	向日市 さくらぎっちゃん	③	子ども食堂 アウトリーチ型含む事業	1,000
大阪府	NPO法人 輝	①	ほっとな居場所でもナビング事業	2,857
	NPO法人 キリンこども応援団	①	貧困の連鎖を断ち切るために学習支援と体験機会の創出する事業	2,999
	一般社団法人 富田林市人権協議会	①	地域で紡ぐこども応援学習支援事業	2,580
	NPO法人 青少年自立支援施設淡路プラッツ	②	不登校等の学生・若者と家族への無料の面談・訪問・居場所支援事業	2,432
	びのこらーず	②	子どもの苦しさを埋もれさせない事業	1,965
	みんなのIBASYOプロジェクト	②	みんなのIBASYOプロジェクト事業	1,208
	NPO法人 いいねきーたん実行委員会	③	食の提供(子ども食堂) 子どもの居場所作り(まちかど保健室)事業	1,681
	ココまな	①	経済的な困難を抱える子どもたちへの学習支援事業	1,000
	一般社団法人 こみらい	①	不登校生徒への個別学習支援(無料塾)・居場所支援事業	1,000
	NPO法人 はっちぼっち	②	長期休み子ども居場所 いっしょに学ぼう☆食べよう☆遊ぼう☆事業	1,000
	東深井つどいば食堂『ふらっと』	②	こどもの学習支援/地域の集い場作りと 子育て親子の地域相談窓口事業	1,000
	NPO法人 子どもネットワーク・ワルツ	③	食事の支援が必要な家庭の子どもたちのための 生鮮食材配布事業	1,000
	J-Love 子ども食堂	③	子ども食堂事業	300
	NPO法人 WAIKI	③	子ども食堂事業	300
	一般社団法人 こもれび	④	新・子どもと社会架け橋事業	1,000
兵庫県	一般社団法人 ピアサポート研究会	①	学習支援・居場所づくり・相談活動で子ども・ 保護者を支える事業	3,000
	NPO法人 スマイルポケット	③	食材・食品の宅配を通じた子育て世帯の見守り事業	2,903
	NPO法人 こどもサポートステーション・たねとしずく	③	子ども達を孤立させないつながらる伴走支援事業	2,961
	NPO法人 フードバンクはりま	③	生活困窮者や福祉施設等に 食材を届けるフードバンク事業	300
奈良県	一般社団法人 はなまる	②	子ども食堂入口に皆の居場所・共に育つ アートなスタンドオープン事業	1,520
	認定NPO法人 おてらおやつクラブ	③	地域内共助に資する地域の子どもの支援する 団体等への後方支援事業	3,000
	ふしみい	②	子育て世帯をメインに、地域の集いの場所を提供する事業	300
	田園地区自治連合会婦人会	②	ふれあいキッチン子ども食堂事業	300
	おっは〜子ども食堂	③	おっは〜子ども食堂事業	300
和歌山県	NPO法人 フードバンク和歌山	③	子供の今を地域と共に支援し、未来を明るく豊かにする事業	2,490
岡山県	NPO法人 オレンジハート	①	ひとり親家庭の子どもたち等の為の学習支援事業	732
広島県	NPO法人 こどもステーション	②	貧困を連鎖させないためのひとり親と若年母子支援事業	3,000
	一般社団法人 KiT	①	発達障害、不登校、経済困難な子どもなどへの 学習支援事業	300
	NPO法人 フードバンク福山	⑥	貧困連鎖解消の為の子育て世帯及び 子ども食堂へ食糧支援する事業	1,000

都道府県	団体名	類型	事業名	支援金額 (千円)
山口県	川中れんげホーム	②	子どもの居場所を提供することを目的とする事業	300
	子ども食堂『にこにこ』	③	食の提供を通じた児童福祉、まちづくり、更生支援に関する事業	300
徳島県	一般社団法人 つなぐMima World Community	①	人と未来をつなぐ学びの場づくり事業	1,000
	NPO法人 スポーツ巡回ネットワーク	①	すべての子どもに質の高いスポーツ教育とスマイルランチを届ける事業	1,000
	居場所カラ・ふる	③	第三のこどもの居場所を通してこどもの貧困を考える事業	1,000
香川県	一般社団法人 小豆島子ども・若者支援機構	④	持続可能な地域社会のための自分らしい社会参加をめざす応援事業	2,980
	NPO法人 メタセコイヤの家	②	メタセコイヤの家の活動事業	1,000
	子ども食堂まねぎねこ	③	食を通して貧困家庭のイベントと新学期支援を提供事業	1,000
愛媛県	NPO法人 Gumi	③	「つながりをつくる」子ども食堂・常設フードパントリー事業	300
高知県	一般社団法人 虹の花	③	子ども食堂・無料フードパントリー・子どもの居場所事業	1,000
福岡県	NPO法人 チャイルドケアセンター	③	こども食堂運営ノウハウ共有会及び物資共有会の実施事業	3,000
	NPO法人 フードバンク北九州ライフアゲイン	③	笑顔いっぱい！子どもたちの未来を守り育てる親子まるごと支援事業	3,000
	NPO法人 Smileネットワーク北九州	⑥	地域格差解消と貧困連鎖を断ち切る為の、子どもの生きる力を育む事	3,000
	NPO法人 舞台アート工房・劇列車	⑥	パペットシアターPROJECT事業	300
佐賀県	佐賀県外国にルーツを持つ生徒交流を支援する会	①	外国にルーツを持つ子どものための学習支援事業	1,000
長崎県	NPO法人 フリースクールクレイン・ハーバー	⑥	生活困窮世帯向け地域子育て支援情報配信事業	2,436
	一般社団法人 おあしす	②	地域の方々の憩い場、居場所事業	1,000
	NPO法人 ながさき村	②	長崎の子どもを貧困から守る仕組みを強化・定着させる事業	1,000
熊本県	一般社団法人 シンママ熊本応援団	③	子どもの暮らしと笑顔を守るためのシングルマザー世帯への応援事業	1,000
	ぬくもり食堂	③	地域・子ども食堂事業	1,000
大分県	NPO法人 キャリアサポート	④	育てよう、地域の未来を創る人(ひきこもりゼロを目指して)事業	1,494
	公益財団法人 すみれ学級	⑥	すみれ学級1組(敷戸教室)こどもの未来応援事業	3,000
	パワフルシニア・宇佐(子ども食堂・ASU)	③	子どもの貧困対策等、子ども食堂拡充事業	1,000
鹿児島県	一般社団法人 collage	①	沖永良部島の子どもたちの未来が輝くキャリアアップ支援(発展)事業	1,000
	一般社団法人 居場所づくり支援事業Um	④	貧困世帯の連鎖解消にむけた子どもたちの自立支援事業	1,000
沖縄県	名護こども食堂	①	子ども達の学び困難意思決定を促し学びを拓く支援事業	2,805
	一般社団法人 よなばーる	⑥	中高生・若者のための安心安全な第三の居場所づくり事業	1,000

ご協力いただいた企業

多くの企業や個人の方から、様々な方法でご協力いただきました。その一部をご紹介します。

店頭募金やWEB募金等のご協力



株式会社イトーヨーカ堂と株式会社セブン&アイ・フードシステムズには、全国のイトーヨーカドー・ヨークとデニーズの442店舗での店頭募金と、株式会社イトーヨーカ堂にはセブンマイルプログラムを通じたWEB募金活動にご協力いただきました。また、本社と一部店舗の従業員のみなさまに、読み終えた本等の買取金額が同基金に全額寄付される「こどものみらい古本募金」にもご協力いただきました。

株式会社すかいらーくホールディングスは、ガスト、バーミヤン、ジョナサン等の全国の約2,700店舗で募金活動にご協力いただきました。

株式会社NTTドコモは、「dポイントクラブ」を通じて、dポイント1ポイントを1円として寄付をする募金活動にご協力いただきました。



寄付付き商品等を通じた寄付のご協力



株式会社北海道銀行は、SDGs達成に向けた取組を応援する施策の一つとして「道銀SDGs私募債」の取扱いを行っています。道銀SDGs私募債は、商品主旨に賛同したお客様が本私募債を発行した場合、北海道銀行が発行金額の一定割合をSDGs達成に資する団体・基金等に対して寄付を行うものです。その寄付先の一つとして、こどもの未来応援基金を選定いただきました。

株式会社オリエンタルランドは、同社グループの従業員食堂において、対象メニューの売上げの一部を寄付する「こどもスマイルごはん」を実施。施設内8か所の従業員食堂で本活動を通じて集まった寄付金に、同額を同社が上乘せして、合計金額をこどもの未来応援基金にご寄付いただきました。



サントリー食品インターナショナル株式会社は、「GREENDA・KA・RA」ブランドの収益の一部をこどもの未来応援基金にご寄付いただきました。

寄付型自動販売機設置のご協力

清水建設株式会社は、本社ビル等のオフィスに約25台の寄付型自動販売機を設置。自動販売機の飲料売上げ1本ごとに寄付される仕組みを通じて、こどもの未来応援基金にご寄付いただきました。



ご協力いただいた企業

令和5年度も、多くの企業・団体からこどもの未来応援基金に対し、寄付金のご支援をいただきました。その一部をご紹介します。



株式会社カプコン



株式会社 オリエンタルランド



株式会社北海道銀行



株式会社NTTドコモ



株式会社すかいらーく
ホールディングス



東亜合成株式会社



株式会社イトーヨーカ堂



株式会社フォレストワン



清水建設株式会社



サントリー食品
インターナショナル株式会社



株式会社バリューブックス



株式会社大和証券グループ本社

ウーマン スマイル カンパニー



株式会社千趣会



JFEホールディングス株式会社

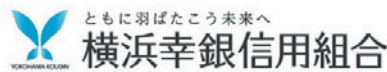


日本軽金属株式会社

健康にアイデアを



明治ホールディングス株式会社



横浜幸銀信用組合



株式会社オランダ家



三菱食品株式会社



株式会社セブン&アイ・フードシステムズ

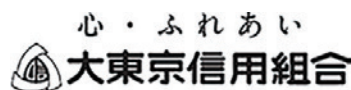


一般社団法人アズビル山武財団



サンセイランディック

株式会社サンセイランディック



大東京信用組合



日油株式会社



富士テレコム株式会社



株式会社渡辺商行



こどもの未来は日本の未来

基金についてのお問合せ先

独立行政法人福祉医療機構
TEL:03-3438-0211

事業全般についてのお問合せ先

こども家庭庁支援局家庭福祉課
TEL:03-6859-0183

■ ホームページやFacebookで最新の活動について情報を発信しています。

こどもの未来応援国民運動 ホームページ

こどもの未来応援国民運動 Facebook

こどもの未来 応援

